

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

静岡県袋井市 聖隷袋井市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(代行制)	4	-	訓	-
人口(人)	建物面積(mf)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
88,127	10,399	非該当	非該当	1.5 : 1

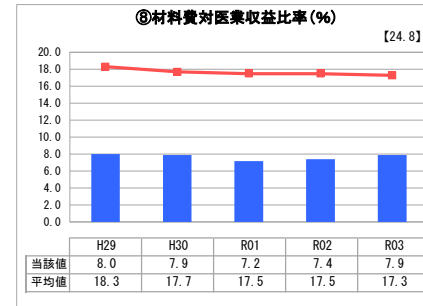
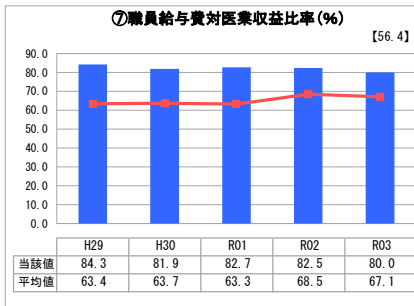
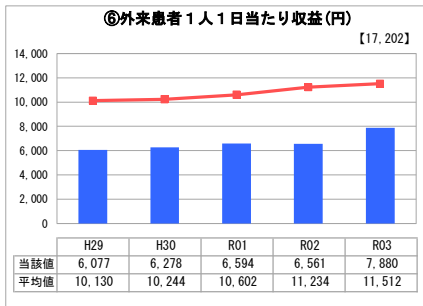
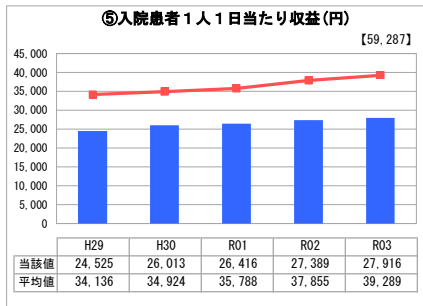
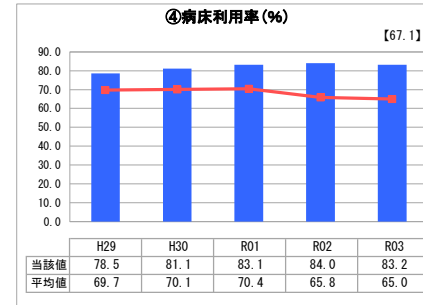
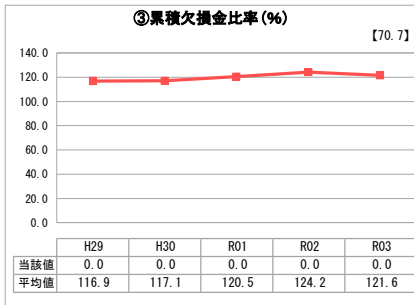
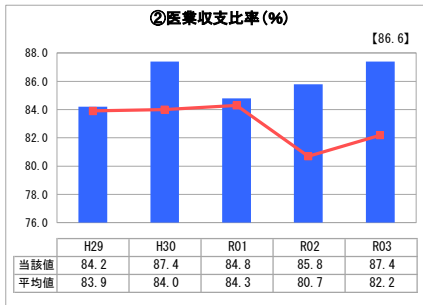
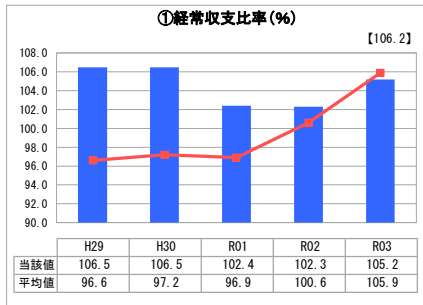
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

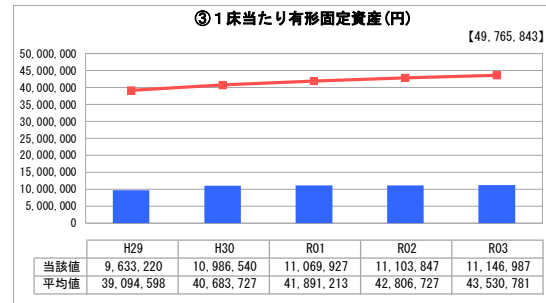
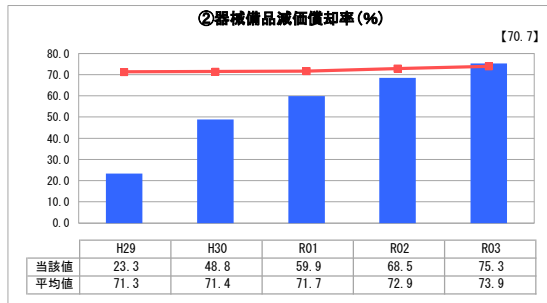
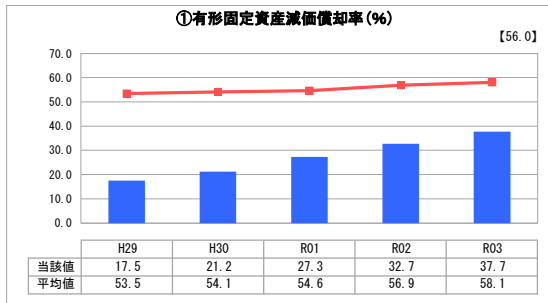
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
100	50	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	150
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
96	47	143

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

## I 地域において担っている役割

公立病院同士の統合により平成25年5月に新設された中東遠総合医療センターをはじめとする急性期病院の後方支援病院として、回復期及び慢性期医療を担っている。

また、袋井市が進める地域包括ケアシステムの医療分野の核として、地域診療所や介護事業所等と連携し、在宅復帰までの切れ目ない医療を提供している。

なお、経営形態は指定管理者制度を導入し、料金収受代行制により運営している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は常に100%を超えており、安定的な経営を継続している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施により大幅に上昇した。

病床利用率は、急性期病院との連携強化により増加傾向にあるが、令和3年度は医師退職による受入患者数の減により前年度より低下した。

入院患者1人1日当たり収益は、収益性の低い慢性期医療を担っていることから平均値より低いが、回復期リハビリテーションの充実により年々増加している。

外来患者1人1日当たり収益は、地域診療所では不足する診療科目を補う診療を行っていることから平均値より低いが、リハビリテーション科の充実により増加傾向にある。

### 2. 老朽化の状況について

開院後9年が経過し、当初購入した器械備品の使用年数が法定耐用年数を超過したものもあり、器械備品減価償却率が年々上昇している。経年劣化による不具合が生じている機器もあるため、計画的に更新している。

旧病院から引き継いだ施設設備は、築40年を超過しているため、予防計画型保全により中長期的な更新計画を策定し、計画的に更新していく。

### 全体総括

経常収支比率は100%を超え、安定経営を継続しているが、基準外繰入金に依存しており、さらなる経営改善が必要である。

しかし、現在の中東遠医療圏の病床数は、急性期より回復期・慢性期が上回っていることから、急性期からの受入患者数に限度がある。

今後、築40年を経過した施設設備の課題解決のため、将来の医療環境や患者の動向も踏まえながら、今後の病院に求められる役割・機能に応じた施設設備の見直しを進める。